

上場は“夢”じゃない!



Geolocation Technology
代表取締役社長
山本 敬介氏

ベンチャー企業の可能性を開く TOKYO PRO Market

ベンチャー企業を応援するエイチ・エス証券

ベンチャー企業に上場のチャンスやその後の飛躍の可能性を提供するTOKYO PRO Market (東京プロマーケット、以下「TPM」)。このTPMに、2020年12月に上場したGeolocation Technology (以下「GT社」) が、わずか9カ月というスピードで福岡証券取引所Q-Boardへの上場を果たした。同社の山本敬介氏と、主幹事を務めたエイチ・エス証券の堀修氏に、ステップアップ上場までのストーリーと上場後の効果などについて語ってもらった。

事業拡大の潮目が変わった TPM市場への上場

——TPM上場から、わずか9カ月で福岡証券取引所Q-Boardへの上場を果たしましたが、直近1年を振り返っての率直な感想をお聞かせください。

山本 当社は、約10年前から上場を目指して準備を進めてきました。なかなか進展がない時期もありましたが、エイチ・エス証券のサポートを受けるようになってからのTPM上場、Q-Board上場は、あっという間だった印象です。一般市場にまで無事上場できたことで、ほっとした反面、身の引き締まる思いです。

堀 当社は約3年前に上場市場を一般市場としてGT社の主幹事を受託しました。当初GT社は、事業資質は申し分ないにもかかわらず、売上・利益ともに横ばいが続き、そのままでは一般市場への上場は難しい状況でした。目に見える成果を出すため、知名度アップによって営業環境をまず大きく改善したほうがよいと考え、いったんTPMに上場することを1年半前にお勧めしました。

TPMに上場したことで、大手企業や官公庁からの大型案件も受注し、2021年6月期の決算では明らかに大幅な増収増益兆候が出ました。事業拡大の潮目が大きく変わるなかで、その波に乗って駆け抜けたことが、約9カ月のスピーディーなステップアップ上場につながったと考えています。

TPM市場と Q-Board市場の違い

——Q-Board上場から間もないですが、業務上の効果はありましたか。また、TPM上場との違いはどう感じていますか。

山本 上場には業務において2つの効果があると考えています。1つは、人材採用がしやすくなること。テレワーク化を進めていることでもあります。TPM上場以降、全国各地から優秀な人材を採用することができています。もう1つは、現地の自治体や企業からの評価が高まり、大型案件の受注につながるケースも少なくないことです。今回これまでご縁がなかった九州の企業との商談成立が増えました。Q-Board上場によって信頼性が向上し、面談や商談成

立に結びつきやすくなったと感じています。TPMと一般市場の違いのひとつは、機関投資家とのミーティングが増えることです。投資のプロから、当社のビジネスや経営に対して、異なる視点からアドバイスもらえることは、経営者として大いに参考になるため貴重な機会となっています。

堀 一般市場への上場を目指す企業にとっては、業績もさることながら人員の面がネックになるケースもあります。取引所審査では「プライベートカンパニーの域を脱していないのではないか?」という観点で重視されるためです。一方、TPMには、事業資質と事業運営面・ガバナンス面に加えて開示体制が一定程度以上であれば上場することができます。企業によっては、人材面の課題を解決するために、TPMに上場する選択肢もあります。

エイチ・エス証券は ゴールまでのよきパートナー

——これまでTPMのJ-Adviser、IPOの主幹事を務めたエイチ・エス証券に対して、どのような感想をお持ちですか。

山本 当社にとって、IPO業務は初めて経験することばかりでしたが、エイチ・エス証券のアドバイスは、スケジュールやタスク、業績目標などが明確だったため、不安を抱えることなく業務にあたることができたと感じています。IPOでは、ゴールまでの道のりを二人三脚で歩んでくれるパートナーの存在がとても大切です。ステップアップ上場を短期間で実現できたのは、エイチ・エス証券のノウハウあってのことと思っています。

——GT社との信頼関係も厚いようですが、エイチ・エス証券としては、ベンチャー企業の支援における自社の強みをどう分析されていますか。

堀 当社のIPOに関与する部門には、大手証券会社出身の経験豊富な人員が揃っています。マニュアル通りの対応ではなく、「どうすれば上場に向けて前進できるのか」を、その会社に合わせて考え抜き、ゴールまで手厚く対応できるのが強みです。

例えば、同じ書類を作成するにしても、企業の業種・業態によって方向性を考えながら作らなければ、上場審査にはなかなか通りません。企業の担当者にその勘所が見えていないと感じた時には、私たちが一度試しに作成しご覧いただく場合もあります。

とはいえ、我々のようなIPOマンにできることには限りがあります。上場を果たし、さらなる成長を遂げることができるかどうかは、結局のところ、その企業の資質やがんばり次第です。企業が自分たちでやるべきことをちゃんとやり遂げられるようにサポートするのが我々の使命と肝に銘じ、業務にあたっています。

セミナー・個別相談会をWEB開催 全国各地からの相談に対応

——TPM・一般市場への上場を目指す企業にメッセージをお願いします。

堀 GT社は、インターネットユーザーの位置情報をデータベース化する技術を持つ会社です。同社のように、高い技術を持ちながら伸び悩んでいるような企業は、上場によって得られるメリットが大きいと考えられます。IT系のような事業は、投資家の投資意欲も旺盛です。一方で、伝統的な事業を営む企業であっても、安定的に利益を上げている企業であれば、ぜひ上場にチャレンジしていただきたい。企業の安定性を重視する投資家から支持される可能性が十分にあるのではないのでしょうか。

——エイチ・エス証券では、経営者向けにWEBセミナーやWEB個別相談会も実施



エイチ・エス証券
投資銀行本部 管掌
上席執行役員
堀 修氏

しているそうですね。
堀 今までにセミナーへの参加企業は延べ264社、個別相談会実施企業は74社にのびります。

次回のWEBセミナーは12月に開催予定です(エイチ・エス証券ホームページから申込み可)。上場を目指す経営者の方は、まずは気軽にWEBセミナーにご参加ください。当社はベンチャー企業の支援に力を入れており、地方企業の上場も数多く手がけています。全国各地、当社担当者の訪問による相談にも随時対応しています。

WEBセミナー 事前予約制 / 参加費無料

企業の可能性を広げるTOKYO PRO Market

日時: 2021年12月8日(水) 15:30 ~ 16:30

第一部 TOKYO PRO Marketの概要

東京証券取引所 上場推進部

第二部 最短ステップアップ上場の過程を語る

Geolocation Technology 代表取締役社長 **山本 敬介**
エイチ・エス証券 上席執行役員 **堀 修**

WEB個別相談会

株式上場、事業拡大へのM&A、財務戦略・資金調達等、この機会にぜひご相談ください。

WEBセミナーおよびWEB個別相談会は、Zoomを利用します。参加をご希望のお客様は、弊社ホームページもしくはお電話にてお申込みください。

セミナー・個別相談会・資料請求のお申込みは

HS上場 **検索**

TEL.03-4560-0339